

地域と学校の協同による 「持続可能なコミュニティ」を育成する取り組み



【見付学区】

■世帯数：4,259 世帯

■人 □：8,092 人

■面 積：1.556 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・愛知県教育委員会主催の「高大連携 高校生防災教育推進事業『高校生防災セミナー』」に参加している高校生と学区内の防災組織「みつけ防災会」のメンバーが中心となり、生徒と地域住民が防災・減災に関しての共通意識を持つ活動と、中高生と地元の人との異世代間コミュニケーションを推進する。
- ・平成 24 年は名大付属学校の学園祭「光粒祭」において、地域の避難所となっている学校施設の見学会を開催し、付属学校に常備されている防災備品の紹介や非常食の試食会を行うとともに、学区在住の方の災害の体験談を通じ生徒とのフリートークを行った。
- ・また、同時に地域住民へのアンケートを行い「防災について何が知りたいのか」を調査した。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧、掲示板への掲示

2 きっかけ、背景

地域の防災組織である「みつけ防災会」と地域の避難場所になっている「名古屋大学教育学部附属中・高等学校」が協同して「持続可能なコミュニティ」の育成に取り組む。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、子ども会 計約 30 人

(2) 他団体との協力

見付小学校 PTA・おやじの会

4 実施のスケジュール

平成 24 年 9 月 15 日

名大付属学校「学校祭」において、連携防災交流イベントを地域住民を対象に開催。

付属学校に常備されている防災グッズの紹介と、その取扱いについて地域住民と生徒が情報共有する。同時に地域住民を対象に「防災について何が知りたいのか？」アンケート調査を実施。

名大附属学校学園祭 **光粒祭** 連携防災交流イベント

**見付学区の避難所に指定されている
名大附属学校を見学しませんか**

大震災や風水害が起きたら、ここで避難生活をするようになるかもしれません！

日 時：2012年9月15日(土) 11:50 名大附属学校への入り口付近
みつけ防災会受付に集合

実施場所：名古屋大学教育学部附属学校 第一体育館北側テント付近

- 名大附属学校(避難所)に備えられている防災備品の紹介と非常食の試食会
- 避難所(第一体育館)を中心に校内見学ツアー
- 大災害体験者の経験談(学区在住の方々)をテーマに
参加の生徒さんたちとフリートーク

14:30頃までご利用下さい

■ 見付学区の防災を考える会